

中部接骨学会事務局便

パソコンや横文字が大嫌いな私ですが、最近仕事上、相手に失礼とは思いつつも「Eメール」で連絡したり、dataのやりとりを行っています。ついでに最近ではいろいろな「ホームページ」を見る機会が増えています。しかしまあ、こんなにあるんですね「接骨院のホームページ」…。

「オイオイおまえ！ それハッターリダガヤ！」
「おまえ！ いいのかそこまで書いて… 過去を暴いたろか？」と、これまた頭にくるものばかり。あんまり見るとと血圧上がってしまう！

高校生や大学生に聞いてみると、ちゃんとネット上にあるウソやハッターリ、過大表現を認識・軽視しています。接骨院のホームページにおける民間療法的な誇大広告についても、どれが正しくてどれがインチキなのかは、患者さんはみんな見抜いているようです。

しかし、問題なのは接骨院における「超音波検査装置にて診断」という言葉です。我々柔道整復師には診断権はありません。また、接骨院内で超音波検査画像を用い、患者さんに説明することも認められていません。（特に学生諸君は注意！）

ここ数年の中部接骨学会セミナーにおける症例報告の中で映し出された超音波検査画像は、患部の状態、さらには治癒過程までの道程を会員の皆様に知って頂くために提示したものです。「中部接骨学会で超音波検査画像を取り上げていたので承認されているのだ」という勝手な妄想が一人歩きをして、誤解を招くことに危機感を感じております。中部接骨学会セミナーでは「超音波画像検査の使用法等を説くもの」としては行っておりません。それと同時に、柔道整復師が超音波検査装置を用いた積極的な臨床判断・鑑別を行う行為を決して推奨している訳ではありません。

今後、不可欠になるであろう「医接連携」において知識を養うため、医科との平準化を図るために、「よねだクリニック」よりご支援賜りご提供頂いた貴重な観察結果を、学会という場で勉強させて頂いているだけなのです。

話しは変わりますが、中部接骨学会セミナー準備委員会は学会当日のセミナー発表に備え、「手弁当」で活動して参りました。しかし、個人情報やデータ管理が法的規制される今日、米田實会長自らが責任の重さを痛感し、会員（中部・東海会員）より選出したセミナー委員に掛かる個人の責任を解くと申されました。よって平成22年11月7日、アクトシティ浜松で開催予定の第45回東海接骨学会静岡大会・第92回中部接骨学会における中部接骨学会セミナーは今までとは異なり、米田實会長自ら陣頭に立ち、米田病院と米田柔整専門学校の柔道整復師に招集をかけ、選りすぐりのメンバーで準備を行っています。

本年度の中部接骨学会セミナーのタイトルは「足首のねんざ」です。「足関節捻挫」ではありません。日頃の施術では、患者さんは「足首をねんざしてしまった」とか「足首をひねった」と訴えられます。「足首」という表現は「足関節」よりも広義であり、「足首のねんざ」の中には実に様々な損傷・障害が含まれています。そういった認識が柔道整復師として必要であるということがセミナーのテーマになります。

現在、接骨院から多くの紹介例がある「よねだクリニック・米田病院」では、本来見逃してしまうであろうとされる多くの症例が蓄積されています。それらの症例に携わった担当柔道整復師が直接体験したものを自分で勉強し、自分の言葉でセミナー参加者に語ることが「学会」の「セミナー」として最善と考えます。そして、聴講された会員の皆様に多くの情報を提供することで、柔道整復師としての糧にして頂くことが学会事務局として願うところであります。

「枇杷島のほねつぎ」から始まった米田柔整専門学校・よねだクリニック・米田病院、そしてその中に位置する中部接骨学会。その血肉を分けた皆様におかれましては、「柔道整復師」をビジネスとして食べ物にする「団体」ではないことは、充分ご周知のことと思います。

今後も中部接骨学会は、柔道整復師を「保護」し、さらに「発展」へと導くための学会であり続ける所存です。

中部接骨学会・事務局
杉浦 光幸

【中部接骨学会会員数】

(平成22年9月15日現在)

- ・本部会員 …………… 1,431
- ・(社)愛知県柔道整復師会会員 …… 822
- ・(社)静岡県柔道整復師会会員 …… 334
- ・(社)三重県柔道整復師会会員 …… 168
- ・(社)岐阜県柔道整復師会会員 …… 329

合計 3,084 名

※本部会員には学生会員 (327名) も含まれています。

*

*

*

*

*